

# 31万人元気都市 四日市へ!!

森ともひろ通信

第30号



あなたは 3 8 4 9 0 3 人目の読者です。

39歳 四日市市長

## こにゅうどうくん!ゆるキャラグランプリ2017ご当地4位入賞!

『ゆるキャラグランプリ2017』(三重県桑名市ナガシマリゾートにて11月18,19日に決選投票が開催)にて、我が四日市市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」がご当地ランキング4位入賞を決めました。今年のご当地キャラ部門に全国で681体のキャラが出演しており、強豪キャラが数多く揃う中での4位は大変素晴らしい結果です。

「こにゅうどうくん」本当に頑張りました!

8月1日から始まった4ヵ月弱にわたる長い戦いでしたが、本当に沢山の方が四日市市、そして「こにゅうどうくん」を想い、投票を重ねて頂きました。心から御礼申し上げます。

私も、「こにゅうどうくん」の応援隊長として、高校の学園祭、ショッピングセンターや駅において、「こにゅうどうくん」と共に投票依頼を積極的に呼びかけてきました。その様子は多くのメディアでも取り上げて頂きました。

今回の『ゆるキャラグランプリ』の取り組みを通して、メディアの露出におけるシティプロモーション効果と共に、一つの目標に向かい力を合わせて取り組むという市民の一体感の醸成にも大きく貢献出来たと考えています。

誕生20周年を迎えた「こにゅうどうくん」と共に、今後も四日市市を大いに盛り上げていきます。



## 【子育てするなら四日市!】子育て支援アプリ「よかプリコ」導入!

四日市市は8月から子育て支援アプリ『よかプリコ』の配信を開始しました。『よかプリコ』は子育て世代が日常的に利用するスマートフォン向けのアプリケーションで、妊婦の方や主に小学校就学前の児童がいる保護者の方を対象とします。子育て支援アプリの導入は、今回の四日市市が**県内初の導入**となり「子育てするなら四日市」と感じて頂ける特徴的な施策になります。

『よかプリコ』は母子健康手帳を補完する役割を持っており、①妊婦向けの情報やお子さんの健康診断の時期等のお知らせ機能、②予防接種スケジュール機能、③子育て支援施設の検索機能、④子育て支援情報機能、⑤成長記録・育児日記機能を有しています。

## 【ご当地ナンバー『四日市』ナンバー導入へ!】～2020年度を予定～

四日市市は、11月に三重県に『ご当地ナンバー「四日市ナンバー」』の導入意向表明書を提出しました。手続きが順調に進められると2020年度中に、四日市市での登録の車が「三重ナンバー」から「四日市ナンバー」へと変わります。

これまで、四日市市は「四日市ナンバー」の導入を検討してきましたが、条件がクリア出来ずに導入まで至りませんでした。しかしこの度、これまで障壁となっていた事項が全てクリアになり、晴れてご当地ナンバーの申請が実現しました。

今回のご当地ナンバーの導入には、「地域独自の図柄」の導入が条件となります。2018年度に市民から幅広いデザインを募り、多くの方に納得頂けるデザインを決めていくこととなります。

ご当地ナンバーは、四日市市の知名度向上、シビックプライドの醸成に大きく寄与すると期待しています!

## 【四日市市経済訪問団がベトナム/ハイフォンを訪問】

四日市市・四日市商工会議所からなる経済訪問団が、7月9～13日に掛けてベトナム「計画投資省外国投資庁」、ベトナム第三の都市「ハイフォン」を訪問しました。私は、市長として当経済訪問団の団長を務めました。

今回の訪問は、平成28年8月の四日市市とベトナム「計画投資省外国投資庁」、「ハイフォン市」との間で経済交流に関する覚書の締結に基づく経済交流の一環となります。今回、ベトナム計画投資庁外国投資庁のタウン副長官、ハイフォン市人民委員会のタウン委員長とお会い出来、今後の企業進出に向けた有意義な意見交換が実現しました。

地元企業の海外進出に繋がるように、今後もベトナム、ハイフォン市との緊密な関係構築に努めていきます。





# 【福島県新地町に『四日市橋』設置) 友好の架け橋に！

四日市市は、東日本大震災発生翌年から福島県新地町に「震災復興支援に関する職員」を派遣してきました。震災からの復興に向けて派遣職員は、「新地駅周辺被災市街地復興土地区画整理事業」等に関わってきました。この復興土地区画整理事業等は今年度完了予定となっており、6年間に渡る職員の派遣も一定の区切りとなります。

この度、新地町は当区画整理事業等に継続して四日市市からの派遣職員が従事したことに対する感謝と新地町と四日市市の友好の架け橋としての想いを込め、当区画整理事業で架けられた人道橋を『四日市橋』と命名しました。

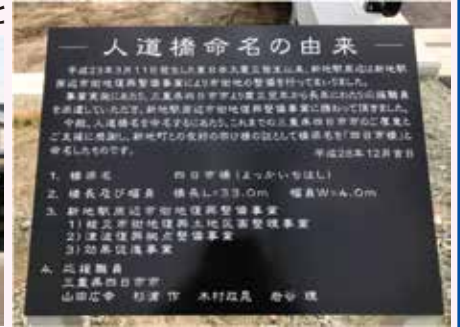
福島県新地町に四日市市の名前が入った『四日市橋』が架かることは大変名誉なことであり、6年間で4名の職員を派遣し続けたことが生んだ両自治体の絆の現れであると感じています。

市長として、復興の進む新地町の皆さんへの激励、『四日市橋』についてのお礼、そしてこれまで本市の職員が関わった区画整理事業等の現地視察の為、四日市市長として初めて新地町を訪問しました。

現地では、加藤町長がお出迎え頂き、震災時の様子やその後の復興状況についてご説明頂きました。『四日市橋』は平成29年度中に供用が開始される予定で、川沿いには桜が植えられ桜並木となるとの事でした。全てが津波によって失われたエリアに、新たな息吹が芽生えその中に『四日市橋』がある。

ゼロの段階から地域に入り、区画整理事業に携わり着実に遂行した職員を誇りに思うと共に、『四日市橋』と命名して頂いた新地町のご対応に感謝の念を禁じ得ません。加藤町長と、この『四日市橋』が四日市市と新地町との架け橋になり、今後も両市町の友好を深めていきたいと思いますという硬い握手を交わしました。

これからも、四日市市は新地町の復興を応援していきます。



## 【全国施行時特例市市長会 副会長に就任】積極的な国への提言

四日市市は、『全国施行時特例市市長会』に加盟しています。現在、36市が加盟しており、本年度から四日市市長の私が副会長に就いています。当会は、地方分権を一層推進するとともに中核市への移行を円滑に行うことを目指し、また、会員市共通の課題について、国等への政策提案や意見表明を行うことを目的に活動をしています。

8月には中核市市長会と合同で野田総務大臣をはじめとする総務省との懇談会を行い、その際に、四日市市が抱える課題(ふるさと納税制度の適切な運用)について、国に直接訴えました。

## ・街頭演説 77か月連続実施中!!

平成23年8月から毎月、市内各地で実施している街頭演説が、12月2日で連続77か月を迎えました。

## ・駅立ち580日を超える!!

12月13日のあすなろう鉄道西日野駅の駅立ちにて582日目に達しました。平成22年9月21日から行っている朝の駅立ちは、政治家 森智広の活動の原点です。



### 駅立ち実績 (2017年8月24日～)

8月24日 JR 河原田駅	9月11日 近鉄伊勢松本駅	10月24日 近鉄塩浜駅西口	11月22日 近鉄桜駅
8月28日 近鉄四日市駅東口	9月13日 近鉄中川原駅	10月26日 近鉄霞ヶ浦駅	11月27日 三岐暁学園前駅
8月31日 近鉄四日市駅北口	9月22日 近鉄富田駅西口	10月30日 近鉄塩浜駅東口	11月30日 近鉄北楠駅
9月 4日 近鉄四日市駅西口	9月25日 近鉄富田駅東口	11月13日 近鉄阿倉川駅	12月4日 近鉄川原町駅
		11月17日 近鉄伊勢川島駅	12月13日 あすなろう西日野駅

## 森 智広 プロフィール

### 学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業  
 平成9年 四日市南高校 卒業  
 平成13年 立命館大学 理工学部 卒業  
 平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

### 職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所  
 平成18年 あらた監査法人 入所  
 平成19年 公認会計士登録  
 平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向  
 平成22年 あらた監査法人 退所  
 平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選 [現役最年少]  
 平成25年 税理士登録  
 平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選  
 平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選

### 【役職】

・全国施行時特例市市長会 副会長  
 ・三重県後期高齢者医療広域連合 副会長



継続的に市政情報発信しています!  
 森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索